

## 用語集

### CKAN

データカタログサイトを構築するためのオープンソースソフトウェア。メタデータによるデータのカタログ化、公開、共有及び検索を実現する「データ管理システム」です。

### EPSG

3次元の地球を2次元で表示する時に必要となる様々な情報をまとめ、コード化したものです。G 空間情報を取り扱う際に、地理情報システム(GIS)でよく使用し、ベクタデータおよびラスターデータにもこの情報が与えられていると、位置合わせが自動的にできます。

### アカウント

ユーザが特定の領域(ネットワークやコンピュータなど)にログインするための権利をもつIDのことです。システムにログインするためにはIDとパスワードが対になっており、利用者はアカウントと併せてパスワードを入力することにより、システムにログインすることができます。

### ジオコーディング

各種情報に対して、関連する地理座標(緯度・経度など)を付加する技術やソフトウェアのことです。G 空間情報センターでは地名、住所が示す場所に対して、地理座標を与える機能を有しています。

### データセット

G 空間情報センターにおけるデータの管理単位。メタデータと対応するリソースの組み合わせが一つのデータセットとなります。なお、一つのデータセットにつきメタデータは一つですが、リソースは複数持たせることができます。

### メタデータ

データについてのデータ。あるデータそのものではなく、そのデータに関連する情報のことです。データの作成日時や作成者、データ形式、タイトル、注釈などが考えられます。データを効率的に管理したり検索したりするために重要な情報です。

### ベクタデータ

点の座標とそれを結ぶ線によって形状を定義し、色や線幅等を設定することより視覚的に表現するデータ形式のこと。

## リソース

Web ブラウザ等で URL を指定することによりアクセスできるネットワーク上のファイル。G 空間情報センターにおいては実データがこれに当たります。

## ラスタデータ

色情報を保持するピクセルと呼ばれる点の羅列・集合から画像を作成し表現するデータ形式のこと。

## ワールドファイル

ラスタデータを GIS システム等で地理的な位置情報を結びつけるために、座標位置情報を追加したシンプルなテキストデータのこと。

## 座標参照系

地球上の場所を特定するには、座標により特定することが一般的です。しかしながら、回転楕円体の地表面上のある場所を座標により特定するには、その座標の基準となる地球の半径などの緒元が必要になります。この座標の基準となる緒元のことを座標参照系といいます。

## 座標系付与

位置情報を持たないラスタデータに対して、位置情報を付与します。ジオリファレンスとも呼ばれています。位置情報を付与するためには、画像の中の場所に対する座標値を少なくとも 4 点与える必要があります。

## 座標変換

異なる座標系のデータに変換します。例えば、JGD2000 平面直角座標系第 IX 系から WGS 84 の緯度経度座標に変換する処理のことを指します。

## 組織

G 空間情報センターにおける組織はデータセットの集合を作成・管理・公開するために使われます。データセットは必ずいずれかの組織の管理下にあり、登録・編集が可能なのはその組織の権限をもつユーザに限定されます。

## カテゴリ

G 空間情報センターにおけるカテゴリはデータセットを分類するために使われます。、ユーザはあらかじめ登録されたカテゴリの一覧から、指定したカテゴリに属する G 空間情報に絞り込んだ一覧を表示することができます。